

■令和6年6月24日号（第1888号）

- ・国土交通省 国際政策推進本部会議＝インフラS海外展開の新戦略議論
- ・国交省 令和6年度政策レビュー＝「みなとオアシス」対象に審議
- ・土木学会総会 初の女性会長が誕生＝佐々木新会長、多様性尊重し発展目指す
- ・港湾法施行令一部改正＝来島海峡航路西側の緊急確保航路区域を変更
- ・日本全国みなと便り（9）北海道開発局函館開発建設部江差港湾事務所 千葉俊夫所長「離島の暮らしと地域産業を支える檜山のみなと」
- ・東京空港6年度事業 液状化対策やエプロン舗装＝静的締固、薬液注入で改良
- ・石狩湾新港 水深12m国際物流T＝岸壁中詰、鋼管杭の延長等
- ・千葉港海岸 日の出胸壁築造工手続き＝日の出護岸改良延伸も予定
- ・東京都 埠頭背後地の脱炭素化＝CNP形成へ倉庫を調査
- ・金沢港 係留施設基本設計＝水深13m、延長120m岸壁
- ・室蘭港 祝津絵鞆地区岸壁改良＝鋼管杭の打設等工事促進
- ・伊勢湾水理C 水理模型実験設備工事＝実験等の耐震見直し等へ
- ・三河港・衣浦港 物流効率化検討業務＝フェリー・RORO機能
- ・伊勢湾再生推進会議 夏季の一斉水質調査＝モニタリング参加者募集
- ・那覇港 新港ROROふ頭に着工＝地盤改良、ケーソン製作へ
- ・九州地整・県 熊本港耐震強化岸壁着工式＝夢咲島国内物流T・防災機能強化
- ・細島港 水深9mROROBース＝地盤改良促進、今後床掘も
- ・宮崎空港 エプロンの液状化対策＝10番SP見直し実施設計
- ・愛媛県 3港の脱炭素化協議会発足＝三島川之江・東予・宇和島港
- ・石垣港 港湾計画改訂、分科会へ＝新土砂処分場ROROBース
- ・港荷協 第69回定時総会を開催＝最先端技術の研究、実装
- ・6年度総会 リサイクルP推進協議会＝循環型資源の重要性増す
- ・土木学会功績賞表彰式 港湾関係で井合氏、山縣氏が受賞
- ・東亜・ポリウス 3Dプリンター製底型枠で上部工＝潜水土作業を大幅に低減
- ・苫小牧港利用促進協6年度総会＝堀田JFEスチール顧問が講演
- ・総合資源エネ調査会 再エネ導入2割強（22年）＝関係省庁の取組加速を
- ・愛知県 あいち・とこなめスーパーシティ構想＝次エネ等活用モデル検討
- ・茨城県ら 広域アンモニアSC整備調査＝エネ庁補助事業に採択
- ・仙台技調 EE東北'24に出展＝ROV展示、ICT技術紹介

■令和6年6月17日号（第1887号）

- ・国土交通省 齊藤大臣が清水港を視察＝新興津国際コンテナターミナル
- ・港湾局 クルーズ旅客受入高度化＝管理者向けガイドライン作成
- ・港湾談話室 叙勲・褒章お祝いの会＝大脇氏が新会長に就任

- ・洋上風力 秋田・愛知で浮体式実証＝G I 基金フェーズ2へ
- ・日本全国みなと便り（8）京浜港湾事務所 神田尚樹所長「国内外の多様な需要に対応し経済の発展に貢献」
- ・青森港 油川基地港湾整備へ準備＝護岸撤去や取合部構造検討
- ・木更津港 長期構想たたき台まとめ＝南部地区R O R O岸壁整備等
- ・東京港 中防内9 m R O R Oバース＝予防保全型維持管理を検討
- ・新潟東港国際物流T着工 北陸地整が式典開催＝村上・胎内洋上風力へ期待膨らむ
- ・久慈港湾口防波堤 未整備区間の施工方策＝工程計画や効率的据付手順
- ・金沢港 御供田ふ頭1号岸壁＝セメント運搬船入港可能に
- ・業務入札結果（6年4月契約分）
- ・堺泉北港 汐見沖国際物流Tの整備＝プレキャスト床版で上部工
- ・神戸港 P I 2期に荷さばき地瀬手続＝荷捌き地第3工区も予定
- ・佐世保港 国際クルーズ拠点供用式典＝コロナ禍前を上回る寄港へ
- ・徳島小松島港 水深13m国際物流T整備＝築造工事で床掘、土砂撤去
- ・大阪港夢洲地区 C12延伸部にG C 2基＝阪神国際港湾が製作・設置
- ・和歌山県 洋上風力検討会立上げ＝漁業上の課題等を整理
- ・九州地整 港湾事業等円滑化会議＝港湾メンテナンス会議も開催
- ・須崎港 脱炭素化推進協議会＝削減目標了承、骨子案作成へ
- ・総合海洋政策本部 AUVの利用実証事業＝4件採択、水中点検技術高度化等
- ・政投銀 日本港湾のあり方低減＝個性を磨く地方港増やす
- ・沖電気・J A M S T E C 鉛直断面観測システム開発＝J S T技術育成P受託
- ・住友商事 C S O V事業に出資＝ノルウェーのIWS Fleet
- ・東北電力 東新潟火力でアセス縦覧＝水素・アンモニア混焼視野
- ・環境省 離島の浮体式洋上風力＝導入検討の手引きを作成
- ・WF協会 第34回定時総会を開催＝6自治体らが取組報告
- ・海洋調査協会 6年度定時社員総会開催＝能登半島地震に積極貢献
- ・底浄協 6年度定時総会を開催＝50周年迎え技術力磨く
- ・東亜建設工業 「東亜未来フォーラム」＝技術情報の共有と活用へ
- ・東洋建設 関東・関東建築安全大会＝危険予知、作業規程遵守を
- ・国総研・港空研 海洋調査協会・港コン協と協定＝大規模災害時の港湾施設復旧等
- ・消波根固ブ協 6年度定時総会を開催＝社会に貢献する取組強化

■令和6年6月10日号（第1886号）

- ・国交省港湾局 米国沿岸警備隊が訪日＝東京・釧路・苫小牧港、日本の優れた保安対策を確認
- ・航空局 空港の自然災害対策まとめ＝能登地震教訓にBCP強化

- ・バングラデシュ チッタゴン港湾庁長官が局長表敬＝マタバリ港開発等協力・支援
- ・能登半島地震被災港湾 国の一部管理期間延長＝輪島港・飯田港
- ・サイバーポートWEBセミナー開催（6月28日）＝利用者1000者に
- ・浮体式海上施工官民フォーラム＝参加者・意見募集
- ・日本全国みなと便り（7）那覇港湾・空港整備事務所 金丸圭介所長「世界とつながり時代を切り拓く

」

- ・敦賀港 水深9m岸壁複合一貫T＝初弾としてケーソン製作へ
- ・八戸港 PI・3期護岸の取組へ＝航路泊地附帯施設、A護岸ケーソン細部設計
- ・直江津港 水深13m岸壁復旧改良＝上部撤去・舗装工事を公告
- ・鹿島港 外港地区防波堤＝最終ケーソン2函製作へ
- ・「みずほ」で酒田港見学＝新庄神室産業高校生ら、港湾整備の必要性学ぶ
- ・七尾港 大田3号岸壁応急復旧完了＝大型船の利用可能に
- ・福井県 水素・アンモニアSC構想策定へ＝敦賀港の供給拠点等検討
- ・北九州港 新門司9m岸壁基本設計へ＝新規RORO航路就航狙い
- ・松山空港RESA 初弾の基礎捨石工事公告＝護岸築造ステージマウンド
- ・高知港海岸 湾口地区津波防波堤整備＝今年度ケーソン築造工へ
- ・広島県 福山港への集貨促進＝インセンティブ活用企業募集
- ・愛媛県 洋上風力参入へ官民取組＝県内企業コンソーシアム設立
- ・工事入札結果（令和6年4月契約分）
- ・日本港湾協会 6年度総会を福山市で開催＝港湾の整備振興促進へ力を結集
- ・6年度総会 港湾海岸防災協議会＝予算確保に向け尽力
- ・港湾協会 港湾政策研講演会 in 福山＝歴史・文化とものづくり産業
- ・GPS機構 第19回通常総会開催＝港湾空港の整備促進に寄与
- ・JOPCA 第32回通常総会を開催＝港湾分野の国際協力に貢献
- ・CNAC 令和6年度総会開催＝連携構築し海洋教育推進
- ・五洋建設 海洋観測ドローンを開発＝離着水・海上航行可能
- ・五洋建設人事（6月1日）

■令和6年6月3日号（第1885号）

- ・自民党港湾議連 港湾整備緊急要望を決議＝総会開催、7年度予算の確保に尽力
- ・自民党港湾議連 財務省主計局へ要望書手交
- ・港湾局 重要港湾管理者等主幹課長会議開催＝稲田局長が重点施策へ協力呼びかけ
- ・国交省 環境行動計画の点検評価＝環境部会合同会議、CN実現へ取組加速
- ・海洋調査協会 繁本氏を推薦＝川嶋会長が推薦状手交
- ・海事局 海運モーダルシフト大賞＝環境負荷低減の取組評価

- ・港湾統計速報 主要6港（6年3月）
- ・四日市港 霞ヶ浦国際物流ターミナル＝8年度の一部先行利用へ促進
- ・輪島港 復旧・復興プラン検討会＝生業再建へ短期方針検討
- ・増毛港 土木学会地域活動賞受賞＝屋根付き岸壁活かし輸出拡大
- ・稚内港湾事務所 礼文西漁港へ物資輸送訓練＝命のみなとネットワーク
- ・苫小牧港 アンモニア拠点を整備＝北電火力で混焼
- ・東京国際クルーズT 港湾施設に次世代太陽電池＝都、積水化学工業が実装検証
- ・日本全国みなと便り（6）北九州港湾・空港整備事務所 「稼げるまち」「彩りのあるまち」「安らぐまち」の実現に向けて
- ・呉港 阿賀地区のROROバース＝施工方法検討等業務の実施へ
- ・福岡県 苅田港長期構想検討委＝年度内に策定し次期改訂計画に
- ・下関港湾協会 令和6年度総会を開催＝国内外でセミナー開催などPR
- ・神戸港 PI2期の荷さばき地＝液状化対策区域を拡大
- ・中国モーダルシフト利用促進セミナー＝6月25日開催
- ・潜水協会 第52回定時総会を開催＝西村技術参事官が講演
- ・海ネット 総会・首長サミット開催＝クルーズアクションプラン策定へ
- ・埋浚協会ら4団体 港湾工事安全研修会開催＝事故撲滅へ一層の取組を
- ・東亜建設工業 技術研究開発センターII期完成＝研究進化、イノベーション加速
- ・東亜建設工業 技術研究開発Cで創エネ＝ソーラーカーポート完成
- ・東亜建設工業 2023年度決算説明会＝受注・利益が過去最高更新
- ・北九州響灘 洋上風力の基地整備＝海と鉄に強い地場産業に期待
- ・経産省 第7次エネ基議論開始＝国際情勢踏まえ安定供給重視へ
- ・エネ庁 非化石エネルギー転換に本腰＝風力8～9円、水素30円目指す

■令和6年5月27日号（第1884号）

- ・国交省 浮体式官民フォーラム設立＝効率的な海上施工等を検討
- ・港湾分科会 港湾の防災・減災対策＝第2回防災部会、答申素案をまとめ
- ・日本全国みなと便り（5）宇部港湾・空港整備事務所 多角的なエネルギー供給拠点の形成に向けて
- ・港湾局 クルーズ旅客受入機能高度化＝検討会立上げ、年度末ガイドライン策定
- ・国交省港湾局 カンボジア訪日団が表敬訪問＝稲田局長、久田産業港湾課長らが歓迎
- ・横須賀港 市港湾審で港計改訂案了承＝新港ふ頭に耐震強化岸壁など
- ・東京港 港湾功労者表彰式を開催＝開港83周年、7名に感謝状
- ・酒田港内航航路が開設 山形県が式典開催＝博多港・門司港を結び世界各国へ
- ・十勝港 京浜港コンテナ定期航路が開設＝道東の農産物を世界へ
- ・中部国際空港 2023年度決算発表＝大幅増収、4年ぶり黒字計上

- ・水島港 バルク戦略港玉島地区が完成＝6万DWT級受入で輸送効率化
- ・志布志港 緊急支援物資輸送訓練＝命のみなとネットワーク
- ・鹿児島県 志布志港長期構想素案＝国際CT拡張、バルク集約等
- ・境港 生物共生型港湾構造物＝検討会が最終取りまとめ
- ・尾道糸崎港 三原旅客ターミナル建替＝県が設計プロポーザル公告
- ・境港・空事務所 浜田港防波堤（新北）＝ケーソン1函製作へ
- ・埋浚協会 6年度定時総会を開催＝適正な価格転嫁へ自主行動計画
- ・PIANC ケープタウンで年次総会＝西村技術参事官が講演
- ・RSO 第25期通常総会を開催＝來生氏がリサイクルアワード
- ・東洋建設 美浦研究所30周年＝記念講演会・祝賀会開催
- ・東洋・MODEC TLP浮体・係留システム＝海事協会からAIP取得
- ・三井E&S 水素燃料電池搭載RTG＝米国で商業運転開始
- ・港湾経済学会 高橋氏らが研究報告＝港湾DX等、情報セキュリティ等

■令和6年5月20日号（第1883号）

- ・日港連 第41回通常総会を開催＝港湾業界の課題解決に向け結束
- ・東洋建設 新社長に中村常務＝大林社長は取締役副会長
- ・日本全国みなと便り（4）函館港
- ・港湾局 クルーズ受入促進等＝6年度第2回公募開始
- ・千葉港海岸 直轄海岸保全施設整備が進捗＝日の出護岸築造工事着手など
- ・北陸地整・福井県 敦賀港鞠山南複合一貫輸送T着工＝RORO船の荷役効率化に期待
- ・名古屋港 飛島ふ頭東の第2B促進＝土留本体工・地盤改良工
- ・清水港 新興津第3B整備を促進＝床掘やケーソン製作を追加
- ・北陸地整 輪島港・飯島港＝6月末までに啓開完了へ
- ・和歌山下津港海岸 鋼殻構造で藤白水門整備＝工期短縮、経済性等有利
- ・細島港 水深9mROROバース＝地盤改良、岸壁本体工等
- ・浜田港 福井地区に仮係留施設＝作業船等係留機能の役割へ
- ・浜田港 防波堤（新北）事業＝ケーソン1函の製作へ
- ・長洲港 土砂処分場整備事業＝年度内にアセス手続き完了
- ・博多港 エバーオムニ初入港＝東南アジア直航サービス開始
- ・業務入札結果（令和6年3月契約分）
- ・海技協 第38回通常総会を開催＝作業船の重要性を再確認
- ・土木学会 井合氏、山縣氏が功績賞＝技術賞Iに五洋・港空研・東工大
- ・運総研 交通産業GXロードマップ＝中間まとめ、ゼロエミ達成への課題
- ・国交省ら インフラメンテ大賞＝7月12日まで募集中
- ・MEMPHIS会 6月20日、広島で講演会、21日現場見学会

- ・井本商運 国際フィーダー新設・拡充＝十勝・釧路、小名浜、直江津
- ・五洋建設 2024年3月期決算＝過去最高の増収増益
- ・東洋建設 2024年3月期決算＝国内土木堅調、利益2割増
- ・日鉄エンジ 2023年度決算発表＝売上16%増、利益は減
- ・日立造船 2024年3月期決算＝6期連続増収・増益

■令和6年5月13日号（第1882号）

- ・日港連 第41回通常総会を開催＝港湾業界の課題解決に向け結束
- ・東洋建設 新社長に中村常務＝大林社長は取締役副会長
- ・日本全国みなと便り（4）函館港
- ・港湾局 クルーズ受入促進等＝6年度第2回公募開始
- ・千葉港海岸 直轄海岸保全施設整備が進捗＝日の出護岸築造工事着手など
- ・北陸地整・福井県 敦賀港鞠山南複合一貫輸送T着工＝RORO船の荷役効率化に期待
- ・名古屋港 飛島ふ頭東の第2B促進＝土留本体工・地盤改良工
- ・清水港 新興津第3B整備を促進＝床掘やケーソン製作を追加
- ・北陸地整 輪島港・飯島港＝6月末までに啓開完了へ
- ・和歌山下津港海岸 鋼殻構造で藤白水門整備＝工期短縮、経済性等有利
- ・細島港 水深9mROROバース＝地盤改良、岸壁本体工等
- ・浜田港 福井地区に仮係留施設＝作業船等係留機能の役割へ
- ・浜田港 防波堤（新北）事業＝ケーソン1函の製作へ
- ・長洲港 土砂処分場整備事業＝年度内にアセス手続き完了
- ・博多港 エバーオムニ初入港＝東南アジア直航サービス開始
- ・業務入札結果（令和6年3月契約分）
- ・海技協 第38回通常総会を開催＝作業船の重要性を再確認
- ・土木学会 井合氏、山縣氏が功績賞＝技術賞Iに五洋・港空研・東工大
- ・運総研 交通産業GXロードマップ＝中間まとめ、ゼロエミ達成への課題
- ・国交省ら インフラメンテ大賞＝7月12日まで募集中
- ・MEMPHIS会 6月20日、広島で講演会、21日現場見学会
- ・井本商運 国際フィーダー新設・拡充＝十勝・釧路、小名浜、直江津
- ・五洋建設 2024年3月期決算＝過去最高の増収増益
- ・東洋建設 2024年3月期決算＝国内土木堅調、利益2割増
- ・日鉄エンジ 2023年度決算発表＝売上16%増、利益は減
- ・日立造船 2024年3月期決算＝6期連続増収・増益

■令和6年4月29日号（第1881号）

- ・東京国際空港 鉄道アクセス整備本格化＝ECI方式での施工始まる

- ・国交省 i-C o n 2・0を策定＝生産性向上、建設現場のオートメ化
- ・日・シンガポール グリーン・デジタル海運回廊＝初会合、戦略港湾会社が参画
- ・日本全国みなと便り（2）青森港
- ・春の叙勲 堀川氏が瑞宝中綬章＝瑞小5名、瑞双4名等
- ・東京国際空港 場内自動運転の基盤インフラ＝人工地盤の予備設計に着手
- ・四日市港海岸 塩浜地区護岸の検討開始＝構造検討や実施設計等業務
- ・仙台塩釜港 雲雀野地区水深12m岸壁＝今年度ケーソン8函製作へ
- ・小樽港 3号ふ頭クルーズ船岸壁＝市・小樽開建が記念式典、みなとオアシス小樽登録
- ・川崎市 東扇島に30万m²物流施設＝条例アセス準備書縦覧
- ・川崎市港湾局 令和5年港湾調査速報＝コンテナが減少
- ・北九州空港 W T Oで用地造成区域拡大＝滑走路エリアの舗装工も実施
- ・屋久島空港 2000m滑走路に延長＝鹿児島県、今年度から新規事業着手
- ・苅田港 新松山12m国際物流T＝4函の岸壁築造工事手続き
- ・高松空港 R E S A整備で用地造成＝作業ヤードや溜池埋立工も
- ・長崎県 館浦漁港の整備着手＝6年度は測量・調査
- ・宮古島市 みなとまちづくり基計Ⅱ＝トゥリバー地区マリーナ再整備
- ・高松港 港湾脱炭素化計画案＝朝日地区で水素等貯蔵
- ・自然エネ財団 世界の洋上風発導入73GWに＝中国の導入量が欧州を上回る
- ・環境省 浮体式洋上風発促進事業＝地産地消の地域計画策定を補助
- ・韓国C L T 日本でのD X推進を表明＝J P C S通じて計画展開
- ・6年度直轄事業の取組 ㊦「生産性の向上」＝低炭素型作業船導入効果検証等
- ・内閣府 A U Vの実海域実証公募＝2030年までの事業化目指す
- ・G I基金 製鉄プロセスの水素活用＝日鉄ら、新たなテーマに着手
- ・日鉄エンジ 新任役員4人が会見＝洋上風力関連に力点
- ・海技協 登録海上起重基幹技能者＝作業管理技士講習・試験
- ・みなと総研 みなとづくり助成募集＝第2回募集（5/15締切）
- ・海事局 バーチャル・エンジニアリング＝川重ら7件の事業採択

■令和6年4月22日号（第1880号）

- ・斉藤国交相 伊ミラノ開催G7交通大臣会合＝不確実な世界での連結性確保議論
- ・新シリーズ「日本全国みなと便り」（1）下関港
- ・港湾局 海藻藻場のC O 2吸収＝世界初、35万tを国連に報告
- ・沿岸センター 設計士・設計士補試験＝5月17日まで申込受付
- ・酒田港 洋上風力基地港湾の整備へ＝岸壁築造や地中壁の地盤改良
- ・青森港 油川基地港湾の整備準備＝岸壁実施設計、公有水面埋立
- ・四日市港海岸 6年度新規採択で御礼活動＝商工会会頭ら国交省を訪問

- ・名古屋港 中空沖新土砂処分場整備＝内側中仕切堤工事着手
- ・都港湾局 東京港C Tで再エネ切替＝3万tのCO₂削減効果
- ・仙台技調 東北港湾の技術ビジョン＝中間とりまとめ骨子案
- ・中部地整 四日市港ヒアリ対策＝マニュアルを策定
- ・福山港 箕島地区ふ頭再編工事＝早期供用へ岸壁築造が進捗
- ・鹿児島港 臨港道路鴨池中央港区線＝P1、P2橋梁下部の手続き
- ・徳山下松港 徳山地区水深14m岸壁＝ケーソン製作・据付手続き
- ・堺泉北港 汐見沖国際物流T整備＝6年度から上部工に着手へ
- ・高知港三里地区防波堤（南）延伸＝WTOでケーソン2函築造
- ・宿毛湾港 池島第一防波堤築造工＝6年度は港内側の半分
- ・名瀬港 本港地区2号岸壁供用＝1号岸壁前出し着手へ
- ・四国地整 防災エキスパート（港湾・空港）＝新たに2名を登録認定
- ・東洋建設ら クレーン吊荷上下動低減＝洋上風力等作業船の稼働率向上
- ・湾域の大改造構想⑩「グレーター那覇・みなと大構想」＝クルーズアイランド開発構想提案

- ・日立造船ら メタンスリップ93%削減＝ClassNKからSOF取得
- ・6年度直轄事業の取組④「担い手の育成・確保」＝主任（監理）技術者未経験者育成等
- ・国交省 港湾分野の先端技術開発＝中小企業イノベ創出事業
- ・国交省 官民連携基盤整備推進＝事業化検討を支援
- ・大阪港湾局 モーダルシフトを支援＝補助事業の受付開始
- ・日本空港ビル 水素利用で羽田脱炭素化＝ENEOSと協働検討
- ・東亜建設工業110周年 記念ビデオを配信＝「社会を益する」精神
- ・東亜建設工業人事（4月1日）

■令和6年4月15日号（第1879号）

- ・稲田港湾局長 国際戦略港湾政策推進＝脱炭素、集貨で選ばれる港に
- ・6年度直轄事業の取組① 「働き方改革」＝休日確保評価型試行工事など
- ・港湾局 みなとオアシス小樽＝全国161箇所目登録
- ・港湾統計速報＝主要6港（6年1月）
- ・関東地整 常陸那珂港区岸壁に新着工＝羽田空港のアクセス鉄道基盤
- ・東北地整 青森港酒田港基地港整備＝久慈港の湾口防波堤を促進
- ・北陸地整 新潟港の基地港整備着手＝金沢港、敦賀港ターミナル
- ・中部地整 名古屋港飛島ふ頭の再編＝清水港新興津、四日市港C T
- ・仙台塩釜港 脱炭素化推進計画策定＝3港区で再エネ事業促進
- ・清水港 脱炭素化推進計画＝袖師地区に水素ステーション等
- ・北海局 苫小牧港周文耐震岸壁＝石狩湾新港東地区岸壁整備等

- ・室蘭港 脱炭素化推進計画策定＝洋上風力、水素ハブ拠点
- ・石狩湾新港 脱炭素化推進協議会＝骨子案示し意見交換
- ・近畿地整 国際コンテナ戦略港湾整備＝国際物流ターミナルも促進
- ・中国地整 広島港出島地区岸壁推進＝徳山下松港 19m 栈橋は完了へ
- ・四国地整 徳島小松島港赤石地区等＝高知県内の 3 特定利用港湾
- ・九州地整 熊本港国内物流ターミナル＝北九州空港の 3000m 化等
- ・沖総局 那覇港水深 10m 岸壁整備＝中城湾港水深 11m T 新着工
- ・九州地整 鹿児島港がもたらす効果＝バルク拠点、クルーズ受入等
- ・福岡県 三池港脱炭素化推進＝第 2 回協議会開催
- ・佐世保港 脱炭素化推進計画策定＝旅客 T に陸電施設導入等
- ・大分県 津久見港脱炭素化計画＝第 2 回協議会開催
- ・山口県 脱炭素化推進協初会合＝宇部港・小野田港
- ・徳島県 徳島小松島港・橋港＝脱炭素化協議会開催
- ・地方整備局人事（4 月 1 日）
- ・工事入札結果（令和 6 年 2 月契約分）
- ・港湾局 洋上風力基地港湾を指定＝青森港油川、酒田港外港地区
- ・湾域の大改造構想④ 「大阪湾スマートポート」＝津波高潮防護ラインを築造へ
- ・G I 基金 物件費等高騰分を増額＝水素関連等 11 プロジェクト対象
- ・東京都港湾局 大井ふ頭の再編整備＝中防外 Y 3 完了後に着手
- ・横浜港 マスクのメタノール燃料船＝大黒ふ頭で命名式
- ・日本財団 水素燃料洋上風車作業船＝小倉港でゼロエミ運航
- ・東京港 令和 5 年貨物量速報＝外貨貨物が減少
- ・『みなとのいちにち』発刊＝「コンテナくん」がみなとの働きを紹介
- ・東洋建設 CDM 改良体に CO₂ 固定化＝実地盤で実証、適用性確認
- ・東洋グループ会社のテクオス＝避難所に快適トイレ

■令和 6 年 4 月 8 日号（第 1878 号）

- ・国土交通省 16 の特定利用空港・港湾が合意＝平時訓練習熟で緊急時対応
- ・防災部会 港湾の防災・減災対策のあり方＝能登半島地震を踏まえ審議開始
- ・航空局 「A 2－BCP」改定作業＝自然災害への実効性等強化
- ・航空局 名古屋空港脱炭素化計画＝自治体管理空港で初認定
- ・放置艇対策 検討会が方向性まとめ＝地域の実情に応じて取組推進
- ・港湾局 釣り文化振興モデル港＝第 3 次募集を開始
- ・港湾局 基本方針を変更・告示＝特定利用港湾等追記
- ・能登半島地震 石川県港湾の国管理＝5 月 1 日まで延長
- ・苫小牧港 脱炭素化推進計画を策定＝次世代エネ供給バブ形成

- ・管理組合ら 名古屋港の将来像まとめ＝ポートアイランドの利活用
- ・新潟港 脱炭素化推進計画策定＝県がCNP実証事業等を支援
- ・千葉県 第2回港湾脱炭素化推進協＝千葉・木更津港一体で取組
- ・静岡県 清水港で大規模津波避難訓練＝新興津・袖師コンテナT地区
- ・中部地整 6年度総合評価基準見直し＝管外の災害復旧も加点对象に
- ・東京都ら 大井ふ頭CONPAS＝5年度予約制事業結果
- ・名港管組 名古屋港港湾統計＝令和5年速報値
- ・鹿児島港 臨港道路鴨池中央港区線＝P1、P2橋脚基礎工へ
- ・北九州港 新門司沖土砂処分場Ⅱ期＝WTO3件の護岸築造工事
- ・広島港クルーズターミナル供用記念式典開催＝宇品に12万t受入体制整う
- ・高松空港 RESA整備の技術検討＝施工方法や工程、工費算定等
- ・大阪“みなと”のCNP＝大阪港・堺泉北港・阪南港＝脱炭素化推進計画を策定
- ・徳山下松港 港湾脱炭素化推進計画＝次エネ供給基地整備等
- ・大阪港湾局 ヤード照明LED化補助＝夢洲のCNP認証目指す
- ・大阪港湾局 みなと緑地PPP＝サウンディングを実施
- ・湾域の大改造構想⑤ 「東京湾大改造計画」提案＝羽田空港、港湾棲み分けで機能強化
- ・各社トップの入社式訓示
- ・TOYO 2DIG サミット 東洋建設が社内イベント＝持続可能性、デジタルを議論
- ・港湾局ら 国際トランシップ貨物輸送＝京浜港・阪神港、実施事業者公募
- ・阪神港 6年度集貨事業募集開始＝新規に日本諸港利用促進事業
- ・港湾局 クルーズ受入促進事業＝6年度第1回事業決定
- ・港湾局 国際クルーズ旅客受入＝伏木富山港等5件採択

■令和6年4月1日号（第1877号）

- ・港湾局 港湾ターミナルの脱炭素化認証制度＝6年度に本格運用目指す
- ・港湾局 維持管理に向けた検討会＝告示・ガイドライン見直し検討
- ・航空局 空港土木施設の維持WG＝共通仕様書の一部改定等説明
- ・みなとSDGsパートナー 第7回登録事業者決定＝新規登録事業者募集
- ・苫小牧港 周文ふ頭の複合一貫輸送T＝6年度SCP工事を完了へ
- ・留萌港 外港地区防波堤（南）改良＝堤体の拡幅、嵩上げを促進
- ・留萌港 三泊地区を基地港に＝石炭取扱からの転換を検討
- ・東北地整 国際物流戦略チーム本部会＝物流2024年問題への対応等
- ・北陸地整 広域連携輸送・新技術WT＝CNP共通課題最終まとめ
- ・青森県 八戸港脱炭素化推進計画＝市川・河原木地区に水素等拠点
- ・小名浜港港湾脱炭素化 福島県が計画案公表＝CO2フリー電力の導入等
- ・横浜港 令和5年港勢速報値＝コンテナ貨物が好調

- ・静岡県 御前崎港脱炭素化協＝田子の浦港は準備会開催
- ・北開局ら マリンビジョンコンテスト＝最優秀賞にウトロ地域協議会
- ・姫路港 広畑地区国際物流ターミナル＝岸壁約100mの鋼管矢板工
- ・高知県 「特定利用港湾」指定受入れ＝高知港、須崎港、宿毛湾港
- ・高松港 朝日地区フェリーバース＝鋼管杭打設工事が進捗へ
- ・阪神港 夢洲CTでCONPAS開始＝神戸港PC18はR6上半期から
- ・紀州航路の漂流物除去訓練 四国・近畿地整合同訓練＝「みずき」「海和歌丸」
- ・九州地整 八代港の経済波及効果＝全国に年間2215億円
- ・九州・沖縄 ブロック土木部長等会議＝統一現場閉所日設定等
- ・洋上風力 八峰町・能代市沖事業者選定＝経産省・国交省、第2Rの評価結果詳細を公表
- ・NTTアノードエナジーら、浮体式技術研究組合設立＝14発電事業者、共通基盤開発へ
- ・洋上風力 北海道松前沖協議会開催＝漁業・潮流影響等の知見を共有
- ・三菱洋上風力 秋田2海域で協議会開催＝漁業影響調査手法等報告
- ・関西電力 ノルウェー会社に出資＝浮体式洋上風力拡大へ
- ・港湾局 新技術カタログを公表＝栈橋上部工、吸出し防止
- ・港湾施設点検の新技術 5年度は6技術追加、6年度募集開始
- ・JBE Jブルークレジット交付式＝創出プロジェクト代表が全国から参集
- ・マリーナ・ビーチ協 創立50周年＝記念論文を募集
- ・航空局ら 第3回ドローンサミット＝札幌で10月開催
- ・海洋工事に関する標語＝日建連が募集中
- ・東亜建設工業人事（4月1日）
- ・あおみ建設人事（4月1日）

■令和6年3月25日号（第1876号）

- ・港湾局 内航フェリー・RORO船ターミナルの機能強化＝カメラ映像で出入り管理等、6年度現地技術検証実施
- ・港湾局 袋詰根固材の洗掘防止技術＝高知港海岸津波防波堤、パイロット事業対象に選定
- ・航空局 ローター除雪車の自動化＝GPSやセンサーで省力化
- ・港湾局 第2回メンテ体制検討WG＝点検の合理化、国の支援等議論
- ・土木学会 首都直下被害1001億円＝国土強靱化定量的脆弱性評価
- ・サイバーポートとトレードワルツ＝システム連携開始、貿易手続き電子化へ
- ・訃報 久田安夫氏（97歳）逝去＝元運輸省港湾技術研究所長
- ・洋上風力発電基地 青森港油川、酒田港外港地区＝6年度新規事業として採択
- ・茨城港 常陸那珂中央ふ頭新バース＝水深14m国際物流ターミナル
- ・四日市港 直轄海岸保全施設整備＝石原・塩浜地区の護岸等改良
- ・能登半島地震被災港湾の復旧設計方針＝北陸地整がまとめ、今夏に本復旧の見通し公表

- ・北陸地整 5年度の能登地震復旧予算＝港湾空港関係約190億円
- ・苫小牧港港勢5年度速報値＝11年連続1億tを上回る
- ・業務入札結果（令和6年1月契約分）
- ・広島港宇品地区 ふ頭再編の初弾工事実施＝既設鋼管矢板の切断工等へ
- ・大阪港 主航路横断部の最終浚渫＝コンテナ岸壁航路部も継続
- ・大分港海岸津留地区 鋼矢板打設が最終段階＝工場の取水管部等の改良も
- ・和歌山下津港 鳥居水門・護岸築造工事＝8mのフラップゲート式
- ・宇部港・空事務所 命のみなとネットワーク＝「おおつ」で周防大島へ物資輸送
- ・長浜港 内港埋立事業基本計画案＝8.4ha埋立、周辺一帯整備
- ・境港外港地区防波堤 ブルーインフラ検討＝R6秋から現地実証実験
- ・鹿児島港 機能強化と経済波及効果＝検討会で最終議論
- ・RSO 第3回フォーラム開催＝みなとまちのWFを再考
- ・神戸技調ら 第20回大阪湾フォーラム＝見守りネット「持続可能な社会は海から」
- ・東洋建設 揚土作業を4次元可視化＝リクレーマ船に搭載、生産性向上
- ・港湾構造物の高機能塗装＝東洋建設らが開発、維持管理に貢献
- ・MENPHIS会 土木学会チャレンジ賞＝インフラメンテの取組評価
- ・内閣府 海のデータ連携シンポジウム＝海しるの機能拡充、官民普及へ
- ・住商・東電RP 青森津軽南洋上風力＝計画段階配慮書縦覧
- ・WF協会ら 輪島朝市復興P支援＝みなとオアシス金沢港
- ・五洋建設人事（3月1日、4月1日）

■令和6年3月18日号（第1875号）

- ・港湾分科会 基本方針案を最終審議＝大阪港港計一部変更を了承
- ・港湾局 4月から請負積算基準改定＝経費や供用係数、作業船損料等
- ・港湾局 近く2技術のカタログ公表＝6年度に新たな技術を公募
- ・港湾局 6年度新規採択事業＝事業評価部会です了承
- ・洋上風力 EEZへの設置制度創設へ＝再エネ海域利用法改正案が閣議決定
- ・日ASEAN 港湾技術者会合を開催＝CNP形成テーマに議論
- ・港湾局 6年度標準賃金を値上げ＝潜水土平均で4.3%増
- ・横浜港新本牧岸壁 セル2函の製作・築造工事＝中仕切堤の海上地盤改良も
- ・清水港日の出岸壁改良が完成＝国交省・県・市が式典開催、クルーズ船等2隻同時着岸可能に
- ・北陸地整ら 物流戦略チーム幹事会＝フェリー・RORO船活用方策
- ・四日市港 脱炭素化推進計画案＝最終案取りまとめ
- ・新潟技調 被災港湾施設復旧技術＝第2回検討会、設計方針固める
- ・5年度総会 東北みなとオアシス会議＝連携して賑わいの創出

- ・徳島小松島港 国際物流ターミナル機能強化＝6年度新規事業、水深13m岸壁を延長
- ・中城湾港 新港地区国際物流T整備＝6年度新規事業、水深11mの第2バース
- ・近畿地整ら 国際物流シンポジウム＝国際基幹航路の維持・拡大等
- ・北九州港 脱炭素化推進計画策定＝洋上風力、LNG拠点形成等
- ・第8回四国のCNP勉強会＝官民で取組状況共有
- ・工事入札結果（令和6年1月契約分）
- ・PIANC・港湾局 インドネシアセミナー開催＝連携強化、会員企業が取組発表
- ・ピア研 稲毛浜の人工海浜事例紹介＝井上氏が新たなWF戦略提案
- ・マリーナ・ビーチ協 第2回「未来を語る夕べ」＝桜井教授がビーチ整備テーマに講演
- ・むつ小川原港洋上風力 計画変更、方法書再縦覧＝24万KW、32年春運開目指す
- ・国交省 海外インフラ優秀技術者＝対面とWEBで表彰式開催
- ・志布志港 ミニ消波ブロック製作体験会＝地元小学4年生41名参加
- ・海事局 アンモニア燃料線の技術開発＝GI基金、2事業を採択
- ・住友重機械工業 洋上風旅行事業推進P設立＝基礎構造物製造技術展開
- ・東洋建設人事（4月1日付）

■令和6年3月11日号（第1874号）

- ・港湾局 作業船への陸電供給取組＝CO2削減へ試行工事公告
- ・港湾局 ブルーカーボン役割検討会＝広範囲、高精度計測手法確立へ
- ・港湾局 気候変動適応策実装方針＝「協働防護」推進の必要性等
- ・6年度新規採択時評価 青森港等港湾関係6事業＝分科会事業評価部会です承
- ・能登半島地震 予備費830億円閣議決定＝港湾、海岸等の復旧推進
- ・石川県内被災港湾 国の一部管理期間延長＝管理内容も変更
- ・港湾局 訪日クルーズが回復＝23年速報値、気候回数前年比2.5倍
- ・港湾統計速報（主要6港、5年12月）
- ・四日市港 長期構想最終案をまとめ＝臨港交通体系充実・強化等、6年度に港計改訂作業
- ・石狩湾新港 水深12m国際物流ターミナル＝鋼管矢板式岸壁整備を促進
- ・久慈港 長期構想づくりの検討進む＝洋上風力支援基地機能など
- ・新潟技調 自動係留装置の効果確認＝モニタリング調査を継続
- ・秋田市 新エネビジョンまとめ＝洋上風力、水素等次世代エネ等
- ・酒田港 脱炭素化推進計画案＝バイオマス、風力等促進
- ・関東地整 TEC-FORCE派遣＝能登半島地震、港湾施設の復旧支援
- ・和歌山下津港海岸 6年度に藤白水門工事着手＝ローラーゲート式、幅23m
- ・四国地整 地震・津波対策検討会議＝新規の行動計画案等示す
- ・高知港海岸 湾口津波防波堤整備＝堤頭函に3面スリットや曲線型
- ・広島空港 RESA用地造成等整備＝土工や無線施設整備など

- ・美保飛行場 エプロンの改良工事＝第2スポットを手続き中
- ・広島港 五日市地区港湾緑地整備＝賑わい施設、防災拠点機能等
- ・関門航路 6年度は日明沖で3件＝合計3万m³規模を浚渫
- ・九州地整 能登半島地震TEC-FORCE派遣、港湾で8人目
- ・GI基金 洋上風力低コスト化事業＝浮体式の「共通基盤」確立へ
- ・日建連 23年度「海洋安全表彰」＝五洋・りんかいの箕島事務所
- ・東洋建設 大林社長が現場パト＝与那国防衛隊舎新設土木工事
- ・五洋建設 山下専務が副社長に＝4月役員異動・組織変更
- ・東亜建設工業 役員・幹部人事＝中尾氏が代表取締役任
- ・応用地質ら 3次元音波探査技術＝洋上風力市場向け、高精度な海底地盤調査
- ・JAMSTEC 北極域研究船を命名＝「みらいII」26年秋竣工
- ・JBE Jブルークレジット＝5年度第4回公募開始

■令和6年3月4日号（第1873号）

- ・能登半島地震 港湾施設の災害査定調査へ
- ・北陸地整 「能登港湾空港復興推進室」設置
- ・港湾局、第5回港技パイロット委開催＝四国地整申請の新技术案件
- ・国交省 BIM/CIM推進委＝原則化から1年、2Dとの連携が課題
- ・国交省 G7臨時国交大臣会合＝紅海事案受け共同声明
- ・新潟港 洋上風力基地港湾の整備＝タワー載荷部の地盤改良
- ・関東地整 横浜港輸送効率化検討会＝COMPASの利用促進
- ・北陸地整 広域バックアップ専門部会＝今年度の代替輸送訓練を総括
- ・中部地整・愛知県 ブルーカーボンシンポジウム＝「豊かなあいちの海へ」
- ・金沢港 金石防波堤（西）災害復旧＝令和4年冬季風浪被害を修復
- ・苅田港 新松山水深12m国際物流T＝岸壁築造、泊地浚渫等促進
- ・八代港 第2回検討会、機能強化と経済効果＝バルク・コンテナの物流拠点
- ・九州地整 三池港がもたらす効果＝1312億円の経済効果
- ・徳島県 クルーズ・セミナー開催＝港湾局の清水室長らが参加
- ・大阪市 令和6年度当初予算案＝夢洲のインフラ整備等
- ・鳥取港 第2回港湾脱炭素化推進協＝計画案作成に向け意見交換
- ・中国地整 23年クルーズ船寄港動向＝コロナ前6割の285回
- ・近畿地整 海の再生・全国会議 in 大阪＝「大阪湾再生の今とこれから」
- ・九州地整 海域港湾空港技術報告会＝最新技術共有、若手へ伝承
- ・国交省 海外インフラプロジェクト＝17名の優秀技術者を表彰
- ・ベトナム海事総局 ザン副総裁が沿岸C来訪＝沿岸開発分野の技術協力確認
- ・日本郵船 CTVを国内発注＝2026以降の需要拡大に対応

- ・日本郵船 CTV訓練プログラム＝海技教育訓練認証を取得
- ・海のデータ連携シンポジウム＝3月12日オンライン開催、海する利活用の普及等
- ・東洋建設人事・機構改革（4月1日付）

■令和6年2月26日号（第1872号）

- ・港湾局 CNP形成の取組を加速＝第6回検討会、水素等の受入環境整備等
- ・港湾局 新国際コンテナ戦略港湾＝最終報告、アジア発日系企業貨物取込
- ・みなと総研 海の再生・ブルーインフラ賞＝第1回受賞者決定、授賞式開催
- ・港湾局 CO2削減に向けた検討＝設計段階ガイドライン策定へ
- ・サイバーポートWEBセミナー＝第6弾、3月7日開催
- ・千葉港 中央地区防波堤築造工事＝出洲ふ頭の再編事業と連動
- ・鹿島港 防波堤（中央）長周期波対策＝（南）はケーソン2函製作
- ・中部国際空港 代替滑走路事業準備書縦覧＝2本目、3290mの整備へ
- ・川崎市 令和6年度予算案＝水素等大規模拠点形成等
- ・石狩湾新港管組 令和6年度予算案＝水素等大規模拠点形成等
- ・業務入札結果（令和5年12月契約分）
- ・堺泉北港 汐見沖国際物流Tの整備＝鋼管杭80本打設、基礎捨石
- ・水島港 航路付帯施設工事促進＝鋼矢板による土砂処分用地
- ・北九州港 新門司沖土砂処分場Ⅱ期＝6年度発注で南護岸概成
- ・宮崎空港 エプロンの液状化対策＝6年度は6番スポット実施
- ・坂出港 港湾脱炭素化推進計画案＝ブルーカーボン施策等
- ・鹿児島港 本港区エリアコンセプト＝民間活力導入で賑わい作り
- ・川内港 港湾脱炭素化推進計画案＝バイオ燃料使用量増加等
- ・近畿地整 深日港洲本港航路協議会＝6年度は3月から実施
- ・関東地整港湾空港部 首都直下地震想定し訓練＝東扇島防災拠点、管理運営、へり夜間離着陸
- ・岡山県ら 晴れの国のみなと水島港＝都内でセミナー開催
- ・鉄鋼連盟 第27回土木鋼構造研究シンポ＝基礎構造物補強更新と最新技術
- ・洋上風力 EEZでのアセス制度＝中環審あり方小委が答申案
- ・水素社会推進法案が閣議決定＝CNP形成に寄与、港湾法特例も
- ・いであ オープンイノベーション＝農水大臣賞を受賞
- ・GI基金 廃棄物・資源循環分野＝日鉄エンジら4件を採択
- ・古河電工 石狩湾新港洋上風力＝国内最高電圧、海底ケーブル布設
- ・住友重機械工業 新造船事業から撤退へ＝洋上風力基礎生産に注力
- ・沿岸センター 海洋・港湾構造物試験合格者発表

■令和6年2月19日号（第1871号）

- ・港湾施設 持続可能な維持管理へ＝体制や新技術導入など議論
- ・港湾局 設計段階から新技術導入＝3月に2技術のカタログ公表
- ・港湾局 みなと緑地PPPが始動＝神戸港WFエリアで初認定
- ・港湾緑地の使い方を考える意見交換会＝大阪で3月18日開催
- ・クルーズ de ツナグ官民連携プロジェクト＝JCPA・国交省ら
- ・港湾局・海事局 クルーズ訪日受入促進＝6年度第1回公募開始
- ・港湾局 国際クルーズ旅客受入＝6年度第1回公募開始
- ・東京湾口航路 中ノ瀬西方海域の浚渫準備＝第二海堡は今年度完了
- ・名古屋港 新土砂処分場整備が進捗＝内側中仕切堤の整備も着手
- ・仙台塩釜港 港湾脱炭素化推進計画案＝省エネ等CNへ向け官民連携
- ・苫小牧港 第2回脱炭素推進協＝3月計画策定へ
- ・横浜市 令和6年度予算案＝水素等大規模拠点形成等
- ・工事入札結果（5年12月契約分）
- ・北九州空港 滑走路3000m化、6年度に用地造成完了＝先行施工区の舗装、照明工も
- ・那覇港 新港RORO埠頭再編＝WTOで海上地盤改良工
- ・中城湾港 水深13m岸壁の検討業務＝今後を見据え資料収集や設計
- ・那覇港 浦添ふ頭官公庁船バース＝基本設計業務等手続きへ
- ・福岡市ら 博多港振興セミナー＝都内で開催、約670名参加
- ・鳥取港 国際物流戦略T会合開催＝3万t級大型バース整備等
- ・愛媛県 海岸保全基本計画検討委＝気候変動考慮し計画改訂へ
- ・福山港 港湾脱炭素化推進協議会＝来年度末策定に向け初会合
- ・永井国総研副所長 能登地震の復旧復興に全力＝時代ニーズに応じた研究を
- ・東京都ら 「東京港のつどい」を開催＝港湾物流の効率化に取組加速
- ・釧路港ポートセミナー 都内で開催＝東北海道を支える物流拠点
- ・中国管内港湾 広域連携BCP協議会＝航路啓開の必要性等を確認
- ・内閣府 我が国の海洋状況把握＝「海しる」共有・可視化推進等
- ・NEDO 浮体式フェーズ2公募開始＝石狩等4海域、5月下旬事業者決定
- ・石狩湾新港 取扱い貨物量・入港船舶＝令和5年速報値
- ・三井E&S マレーシアで大型受注＝環境対応型RTG60基

■令和6年2月12日号（第1870号）

- ・能登空港 国の権限代行で復旧工事＝北陸地整、大阪航空局が対応
- ・能登半島地震 港湾、空港、海外等の復旧＝「非常災害」国が工事代行
- ・港湾局 水素燃料荷役機械を実証へ＝南本牧MC2、神戸PC15～17
- ・北海道局 第9期北海道総合開発計画＝分科会で最終審議、3月策定へ

- ・国交省 インフラDX大賞発表＝マリコン各社が優秀賞に
- ・国交省 日・インドネシア次官級会合＝交通分野の協力で覚書
- ・サイバーポート体験ワークショップ＝東京・神戸で開催
- ・酒田港 外港地区係留施設の設計＝洋上風力基地機能、軟弱地盤克服し整備
- ・船川港 3月末に長期構想策定へ＝来年度の港計改訂目指す
- ・四日市港 霞4号幹線の南側延伸＝官民検討会立上げ調査・研究
- ・四日市港 直轄海岸保全施設整備＝石原・塩浜地区、計画段階評価を実施
- ・釧路港 補正で土砂処分場促進＝7年度から浚渫土砂受入
- ・神戸港 WTOで航路附帯施設促進＝護岸本体築造第6工区整備
- ・神戸港 PI2期荷さばき地液状化対策＝マイナス16m岸壁の改良も
- ・大分港 大在西地区ROROバース＝最終仕上げに向け工事公告
- ・舞鶴港 上安久線A2橋台整備＝和田ふ頭ではケーソン製作
- ・平良港 RORO岸壁の舗装工等＝防波堤（下崎北）堤頭部改良
- ・長崎県 長崎港元船地区＝年度末に整備構想策定
- ・苅田港 第1回脱炭素化推進協＝計画作成イメージの説明等
- ・河合港空研所長 脱炭素、DX対応強化＝能登地震教訓、包括調査体制必要
- ・関東地整 東京湾航行支援協議会開催＝地震・津波、風水害行動計画
- ・境港 ブルーインフラ検討会＝老朽化対策と藻場創出
- ・港コン協 航空行政の説明会開催＝災害対応など情報交換
- ・東亜建設工業 KPAから港湾工事受注＝ケニア・モンバサSEZ
- ・東亜建設工業 AI土砂判別システム開発＝土の粒度分布を判定
- ・JAPEXら 相馬でアンモニア調査＝供給拠点構築へ共同研究
- ・中部国際空港 子会社2社を合併＝空港施設管理体制を強化
- ・みらい建設工業人事（4月1日付）

■令和6年2月5日号（第1869号）

- ・港湾分科会 「基本方針」を3月変更へ＝情報セキュリティ、特定利用港湾等追記
- ・港湾局 CTセキュリティ検討委＝最終取りまとめ、港湾運送事業法省令改正等
- ・港湾局 作業船の積算基準見直し＝4月から試行工事開始
- ・航空局 第24回空港技術報告会＝持続的な発展を支える技術
- ・能登半島地震 5年度予備費で災害復旧＝港湾関係7.8億円
- ・能登半島地震 国管理期間を延長＝6港、管理内容も追加
- ・四日市港 霞ヶ浦コンテナ埠頭第2B＝本体杭打設工事等を推進
- ・四日市港 港湾脱炭素化推進協議会＝今年度末に計画策定へ
- ・能代港 防波堤（北）の改良設計＝嵩上げや前面消波工など
- ・東京都 6年度予算案を公表＝内貿ユニットロード機能強化等

- ・名港管組 名古屋港の軽易変更＝審議会専門部会です承
- ・久慈港 WTOでケーソン2函＝北防波堤の延長工事手続
- ・網走開建 管内3港改修工事公告＝網走港防波堤改良など
- ・志布志港 新若浜岸壁築造4函工事＝沖防波堤は最終の2函製作
- ・松山港 外港13m岸壁の機能強化＝ドルフィン設置へ基礎工事
- ・石垣港 防波堤延伸工事を促進＝クルーズバース静穏化へ
- ・唐津港 妙見地区水深7.5m岸壁＝予防保全事業で改良工事中
- ・高知港 湾口地区防波堤整備事業＝海岸航行安全対策検討業務
- ・鹿児島県 屋久島空港滑走路延長＝アセス方法書を国に提出
- ・港湾関係5団体 新春賀詞交歓会を開催＝能登の復興、港湾振興に尽力
- ・うみコン2024開催 脱炭素社会推進がテーマ＝基調講演、ブース展示等
- ・中部地整 みなとオアシス会議＝まぐろのまち清水で開催
- ・境港・空事務所 境港から農林水産物輸出＝冷凍・冷蔵品小口混載輸送実験
- ・志布志港 現場見学会を開催＝鹿児島高専4年生41名参加
- ・東洋建設 土運船への積込管理支援＝富士通とシステム開発
- ・東亜建設工業 NEDOの助成事業受託＝着床基礎の低コスト化技術
- ・東京都港湾局ら 大井ふ頭で予約制事業＝CONPAS活用、3ターミナル同時実施
- ・東亜建設工業人事（2月1日）

■令和6年1月29日号（第1868号）

- ・自民党港湾議連 港湾の重要性を再認識＝能登半島地震への対応等
- ・洋上風力 第3ラウンド公募開始＝青森・山形県沖、着床式約1GW
- ・日本港湾協会 ポート・オブ・ザ・イヤー2023＝厳島港が受賞、表彰式開催
- ・港湾局 モンバサ港の開発協力＝現地でワークショップ開催
- ・国交省 海外インフラP技術者＝第2回評価委員会開催
- ・新千歳空港 補正で滑走路液状化対策＝末端取付誘導路新設舗装も
- ・東北地整・運輸局 クルーズカンファレンス＝国際クルーズ再開・活性化へ
- ・横浜港 新本牧地区岸壁築造工事＝中仕切堤の地盤改良工事も
- ・函館港 弁天地区の水深5m岸壁＝5年度補正で地盤改良工
- ・名古屋港管組 廃棄物海面処分場整備＝事業評価委で継続妥当
- ・業務入札結果（令和5年11月契約分）
- ・佐伯港 女島ふ頭水深10m岸壁＝WTOで海側地盤改良予定
- ・広島港 補正予算で出島岸壁等促進＝福山港では鋼管杭打設開始
- ・熊本港 水深7.5m岸壁の整備＝水域の土砂撤去工から開始
- ・沖縄開建部 那覇港臨港道路若狭港町線＝事業評価監視委員会で審議
- ・鳥取港 千代防波堤延伸へ基礎工＝捨石撤去やケーソン製作

- ・北九州港 港湾脱炭素化推進協議会＝2月にも計画策定へ
- ・JOPCA 第13回セミナーを開催＝サプライチェーン強靱化
- ・インフラメンテ大賞 五洋建設が総務大臣賞受賞＝不動テトラは国交優秀賞に
- ・環境省 洋上風力の新アセス制度＝パブコメ意見踏まえ修正案議論
- ・大阪港湾局 大阪みなとCNP協議会＝年度末に脱炭素化計画策定へ
- ・北開局ら えりも沿岸域ブルーカーボン＝検討会最終回で成果発表
- ・海洋調査協会 能登半島地震復旧支援＝ドローン空撮、ナローマルチ測量等
- ・徳島県美波沖洋上風力＝SSEパシフィコ、アセス方法書縦覧
- ・商船三井 海洋温度差発電の事業化＝モーリシャスで調査へ
- ・日本気象協会 風力発電出力予測システム＝AI導入で精度アップ

■令和6年1月22日号（第1867号）

- ・斉藤大臣 能登半島地震被災地を視察＝「インフラ復旧に全力で取り組む」
- ・港湾局 港湾工事のCO2削減方策＝3月末にロードマップ策定
- ・国交省 災害査定効率・迅速化＝能登半島地震、机上査定の拡大等
- ・関東地整 TEC-FORCEを北陸へ派遣＝能登半島地震被災状況調査
- ・ベトナム・ハノイ 日越交通次官級会合開催＝ダナン港開発・運営事業等
- ・SCOPE 能登半島地震で現地調査＝被害状況の確認等実施
- ・白井中部地整部長 港がモノづくり産業を牽引＝新処分場や飛島東CT促進
- ・千葉港 千葉中央地区複合一貫輸送T＝事業評価監視委員会で再評価
- ・横浜市 山下ふ頭再開発検討委＝地域関係団体が参加、議論
- ・横須賀港 港湾計画改訂案見直し＝新港地区防波堤削除等
- ・工事入札結果（令和5年11月契約分）
- ・北九州港 響灘東地区廃棄物処分場＝事業費386億円、4年延長
- ・徳山下松港 水深19m岸壁ドルフィン＝最終仕上げへ製作、設置
- ・高松港 朝日地区水深7.5m岸壁＝補正予算で鋼管杭打設工事
- ・広島空港 RESA用地造成等整備＝来年度はWTOで工事促進
- ・九州地整 鹿児島港の経済波及効果＝検討会初会合を開催
- ・神戸市 神戸空港サブT整備計画＝改定案のパブコメ開始
- ・洋上風力 EEZ展開の方向性議論＝二段階方式、事業者選定基準等
- ・宇野港湾事務所 命のみなとネットワーク＝玉野市で物資輸送訓練等
- ・東亜建設工業 トゥアス港で建設工事発注＝コンテナ集積場・バスターミナル
- ・東洋建設 三浦研究所で体験学習＝小学生ら24名参加、土木の日関連工事
- ・商船三井 北拓と資本提携＝洋上風力メンテ事業拡大
- ・横浜市 メタノールバンカリング＝マースク、三菱ガス化学と覚書
- ・大阪市 ESIプログラムに参加＝インセンティブ制度開始

- ・国交省 国際港湾周辺の物流拠点＝補助事業を公募
- ・JBE Jブルークレジット＝5年度第3回公募
- ・広島技調 実りある学者開催＝重力式係船岸の増深工法
- ・広島県 「広島港セミナー」開催＝1月26日、会場とWEB

■令和6年1月15日号（第1866号）

- ・令和6年能登半島地震 七尾港、輪島港等で被害＝関係団体ら、海からの支援に全力
- ・能登半島地震 県要請受け国が6港管理＝海保等の支援船入港状況
- ・港空研、国総研 技術支援チームを発足＝能登地震の応急復旧等
- ・放置艇対策 検討会で新たな方向性示す＝年度末に事例集も取りまとめ
- ・港湾局ら 国際戦略港湾積替実証＝リードタイム、コスト検証
- ・港湾局 CTの生産性向上等＝「港湾技術開発制度」公募
- ・港湾局 CTゲートの高度化＝補助事業を公募
- ・港湾局 サイバーポート（港湾空港分野）＝1月10日から運用開始
- ・西尾中部副局長 中部の産業群を支える港＝自然災害への対応力強化
- ・横浜市 港湾審議会で軽易変更了承＝新本牧ふ頭連絡道路の新設等
- ・新潟港 附帯施設へポンプ配送開始＝西港区の航路泊地浚渫事業
- ・中部地整 事業評価監視委員会開催＝四日市港霞ヶ浦、名古屋港
- ・神戸港 航路附帯施設整備を促進＝護岸本体築造第6工区予定
- ・八代港 大築島土砂処分場地盤改良＝A護岸を対象にWTOで2件
- ・北九州港 西海岸地区の岸壁改良＝補正予算で2件の工事
- ・和歌山下津海岸 藤白護岸第3工区着手へ＝5年度補正で第1四半期入札
- ・和歌山下津港 本港地区13m泊地を確保＝補正予算ゼロ国で浚渫工事
- ・三池港 水深10m航路維持へ浚渫＝5年度補正で約4万m³
- ・沿岸センター 民間技術の審査・評価事業＝5年度上期、新規1件、更新評価3件
- ・企業トップの年頭所感（五洋建設、東亜建設工業、東洋建設、若築建設）
- ・港コン協 5年度意見交換会を総括＝頼れるパートナーへの要望等
- ・東亜建設工業 シハヌークビル港で受注＝新CT工事、236億円
- ・東電RP 九十九里沖洋上風力＝着床式、46・5万KW
- ・九電グループら 英国洋上風力海底送電＝優先交渉権を獲得
- ・宮崎県 港湾セミナーを都内で開催＝細島港、宮崎港、油津港

■令和6年1月1日号（第1865号）

【令和6年新年特集】

- ・斉藤鉄夫国土交通大臣 新春のご挨拶
- ・稲田港湾局長 令和6年1月 年頭の辞

- ・港湾6年度予算 補正込みで対前年度1.4倍＝新規にRORO船輸送網強化
- ・6年度新規制度 公共でCTゲートS高度化＝非公表で気候変動リスク評価
- ・港湾関連6年度新規税制＝軽油引取税の課税免除等
- ・品格議連 改正PTが骨子案示す＝スライド条項の適切運用等
- ・航空局 3,959億円で前年度並み＝羽田の京急引上げ線に着工
- ・航空局 空港分野のCNの取組＝太陽光発電の導入促進
- ・海事局 6年度116億円（補正含）＝浮体式洋上風力発電調査等
- ・航空局 空港技術基本計画策定＝技術開発・実装の内容示す
- ・海事局 LNGバンカリング検討委＝夜間・錨泊中、緊急時対応等
- ・国総研・うみそら研 港湾空港技術特別講演＝関東地整との共催
- ・洋上風力 長崎県五島市沖協議会～＝8年1月運開予定、事業者が進捗状況説明
- ・管理組合ら 那覇港浦添ふ頭埋立事業＝アセス方法書、32ha、交流・賑わい空間創出
- ・名古屋港 第2回将来を考える会＝目指すべき方向性を議論
- ・関東地整 アマモメッセンジャー＝地元小学生ら「東京湾を命いっぱい」
- ・港湾局 みなとSDGs 第6回登録者発表
- ・あおみ建設人事（2月1日付）